



民主党政権が誕生しました。民主党は「子ども手当」創設を言っています。子ども手当は年収に関係なく、すべての子供、中学生までに月額2万6千円を出すというものです。財源の問題や子供のいない家庭では負担増になるなど問題も取り上げられていますが、多くの子供のいる家庭では歓迎です。

長い間、自民政権が続いたためにウミがたまっているところも多くあることがわかり始めました。天下り先の法人がたくさんの税金助成を受けていながら、まったく仕事をしていない、など官僚主導で官僚の都合のいいように政治が行われてきたことがわかってきました。民主党政権は今後どうなるのか。しばらくはお手並み拝見ですが、少なくとも今までの国民を馬鹿にしたような官僚主導政治を浮き彫りにし始めたことは成果です。私たちの生活が良くなる政治に期待をしたいと思います。

<第170回 8月9日 ほほえみの会 >
3人の参加でした。

▽4歳の男の子、神経芽細胞腫。末梢血幹細胞移植が終わり完解を迎えた。が、これから放射線治療を始めるといふ。なぜ必要なのか、心配はないのか不安。
本人は非常に元気で病院内を歩き回っていてとても病気の子供には見えないが、先のことを考えると悩んでしまう。保育園には行かせてもいいだろうか。病気をもらったらどうしようと思う。また、2人の姉がいるが、上の小学3年の子がおなかが痛いと言ふ。病院で全身の検査をして診てもらってもどこにも異常はないという。
子供が病気になっていろんなことを学んだ。生き方のものさしが変わった。

<第171回 9月13日 ほほえみの会 >
3人の参加でした。

▽6歳の男の子、急性リンパ性白血病。5月の連休のころから午後になると熱が出たり、夜中に鼻血が出たりと様子がおかしかった。近くの診療所で見てもらった後総合病院に行ったが、子供病院を紹介してもらって移った。4ヶ月たってようやく病気が確定し、来週から治療に入る。伊豆の松崎に住んでいるので母親は毎日車で三島に出て、新幹線で静岡に通っている。朝8時半に家を出て夜11時に帰る。治療が長引くとのことで静岡にウィークリーマンションを借りることにした。
これまで空手や水泳など元気いっぱいだった子だが、今後そうしたスポーツができるようになるのか心配。また、田舎なので近所の人たちに病気をどう話したらいいのか悩む。
ウィークリーマンションに入ったら自宅とカメラ付のパソコンを使って、夫婦でお互いの顔を見ながらインターネット通信で毎日の様子をやり取りしようと思う。

<会報の郵送について >

最近ではインターネットも発達して、毎月の会報もネットで見ればよいという会員の声も聞かれるようになりました。一方で、会報を郵送する切手代(年会費)の未納者も多くいます。そこで、今後は会報の郵送はやめてHPに掲載をするだけの方法に変えてもいいかもしれません。その場合には、年会費の徴収をやめて寄付金だけで会の運営をする。またインターネットの環境がない方にはこれまでどおり郵送をしますが、その方々には切手代の寄付をお願いする。そうしたことも考えておりますがいかがでしょうか。
アンケートハガキを同封しますのでお返事をお願いします。

次回 は 10月 11日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレス k_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>